

緩和ケア継続連絡票記入要領

峡東保健福祉事務所(峡東保健所)

1. 目的

がん等の痛みを伴う疾患の患者およびその家族が希望する療養生活を送れることを目指して、患者が病院を退院するにあたり、地域の診療所、訪問看護ステーション等に対し本連絡票を送付し、ケアチームが情報を共有し支援が行えることを目的とする。

2. 対象者

がん等、緩和医療を必要とする疾患の患者で、患者または家族の合意が得られる者

3. 使用機関・者

管内の病院、診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、薬局等に勤務する専門職

今回は、モデル医療機関、診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、薬局等に緩和ケア継続連絡票の活用について説明し活用を依頼する。

4. 使用方法

- 1) 患者が病院を退院するにあたり早期に記載する。
医師、看護師、薬剤師、ケースワーカー等関係者が記載する。
退院前カンファレンスなど行った際に、併せて記載する。
- 2) 患者または家族に連絡票を送付し、連絡票の内容、ケアチームが内容の共有を行うこと
の了解を得る。
- 3) 詳細内容については、本連絡票に追加添付する。
- 4) 連絡票の保管は、個人情報に留意し行う。

5. 活用状況の把握

各病院や関係機関に、利用状況や活用した上での課題等を確認し、在宅緩和ケア峡東地域連絡会議において今後の効果的な活用を協議する。

6. 記入内容

①記載日	最終チェックした日
②記載者	最終チェックした者
③退院前カンファレンス	退院前カンファレンスを開催した場合は、開催日を記載する
④家族構成	男→□ 女→○ 本人→◎二重印 死亡→塗りつぶし 介護者→* 同居家族は○で囲む キーパーソン、主たる介護者の名前を書く
⑤現在の疾患の状況	書ききれない場合は、詳細資料を添付する
⑥疼痛コントロール、精神症状	薬品名、量を記載する
⑦身体活動状態(ADL)及び留意点	該当する状態に○をつける 特記すべきこと、留意点がある場合は記載する
⑧社会的状況	仕事・趣味・交際・生きがいについては、可能な範囲で記載する
⑨本人・家族への説明と合意	在宅生活における本人・家族の希望については、どんな生活を送りたいのか、療養全般についての希望(ニーズ)を記載する
⑩社会資源の活用	退院後に利用するサービス事業者の氏名、担当者名、連絡先を記載する 緩和ケア継続連絡票を送付する事業所には、○をつけ、情報の共有先を明確にしておく
⑪主治医及び緊急時の連絡先	病院主治医、在宅主治医の連絡先を記載する 緊急時に対応できる連絡先を記載する
⑫連絡票発送の了解	済み、未確認、拒否のいずれかに○ 済みの場合、了解を得た人の続柄を記載 記録内容の同意を得た日を記載し、署名をもらう
⑬病院窓口担当氏名	病院における地域との窓口担当者名を記載する

